

投資会社が伝える、 事業承継・M & Aの進め方

～ 現役投資担当者が明かす、創業オーナーの為のファンド活用法 ～

研修のねらい

新型コロナウイルスによる経営への影響が続く中、中小企業が事業承継問題を先送りにしていると、徐々に経営体力が失われ、手遅れになることも考えられます。このような時だからこそ、コロナ禍を乗り越え、事業承継・M&Aを円滑に進めることが求められます。

本研修では、プライベート・エクイティ・ファンド（「PEファンド」）の現役投資担当者から、円滑に事業承継・M&Aを進めるためのポイント及び更なる成長を実現するためのポイントを学びます。また、事業承継問題を解決するために、PEファンドの投資を受けた企業の取り組み事例を通して学びます。

研修のポイント

- ✓ 円滑に事業承継・M & Aを進めるためのポイントを学びます
- ✓ 投資会社の手法を通じて、更なる成長を実現するためのポイントを学びます
- ✓ PE ファンドから投資を受けた企業の事例から、事業承継の内容を聞くことができます

研修期間

2022年

3 / 1 火

対象者

経営者・経営幹部・後継者

定員 20名

受講料 16,000円(税込)

会場

中小機構 近畿本部

〒541-0052
大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング27階
(セミナールーム)
TEL: 06-6264-8618

| 月日 | 時間 | 科目 | 内容 | 講師 (敬称略) |
|-------------|-------------|--------------------------|---|--|
| 3 / 1 火 | 9:50-10:00 | 事務連絡 | | |
| | 10:00-12:30 | コロナ禍における事業承継・M & A | コロナ禍での事業承継・M&Aの現状を理解するとともに、成功させるポイントを学びます。 | 日本成長投資アライアンス株式会社 パートナー 藤原 摂 |
| | 13:30-15:00 | 更なる成長に向けたPE ファンドの支援手法 | 企業がさらに成長していくために必要なポイントや経営改善のあり方など、投資会社の支援内容を踏まえて学びます。 | 日本成長投資アライアンス株式会社 ディレクター 中坪 武之 |
| | 15:00-17:00 | PE ファンドから投資を受けた企業の事例を通して | PEファンドを活用しながら、事業承継を経験した経営者から、自己の体験を交えた事業承継のポイントを学びます。 また、オーナー経営者が引き続き経営に関与しているケースと関与しないケースを比較することで、事業承継のポイントを学びます。 | 【パネルディスカッション】 同上 藤原 摂 ○創業家関与型の事例 梅乃宿酒造株式会社 代表取締役 吉田 佳代 ○創業家売却型の事例 株式会社放送通信機器 代表取締役 佐藤 壘 【コーディネーター】 同上 中坪 武之 |
| 17:00-17:10 | 修了証書交付 | | | |

講師紹介 (敬称略)



日本成長投資アライアンス株式会社 (J-GIA) パートナー
藤原 摂 (ふじわら おさむ)

2016年にJ-GIA創立メンバーとして参画。ポテトかいつか (茨城)、ヒトヒトホールディングス (東京)、放送通信機器 (神戸)、梅乃宿酒造 (奈良) 等、全国各地の有力企業への投資を担当。J-GIA入社前は米系投資ファンドにおいて7年間PE投資に従事し、大手玩具メーカー、化粧品会社、ホテル運営会社等への支援を行う。



日本成長投資アライアンス株式会社 (J-GIA) ディレクター
中坪 武之 (なかつぼ たけし)

2017年にJ-GIAに参画後、さつまいもに特化した食品会社であるポテトかいつか、医薬品開発のキノファーマ、沖縄を中心にリゾートホテル運営を行うリゾートツルク、創業約130年の歴史を有する酒蔵である梅乃宿酒造等への投資を担当。J-GIA入社前は政府系ファンドにおいて半導体業界の投資案件やベンチャー企業への投資案件を担当。



梅乃宿酒造株式会社 代表取締役
吉田 佳代 (よしだ かよ)

1979年奈良県葛城市生まれ。大学卒業後、総合商社を経て2004年に家業の梅乃宿酒造に入社。入社10年目となる2013年7月に5代目社長に就任、父から梅乃宿酒造を引き継いだ。平均年齢35歳という若い従業員たちのチャレンジスピリットを大切にしながら、女性視点の新商品開発や海外への販路拡大などの積極的な取り組みが話題を呼ぶ。現在は、社長をしながらも二人の子どもの母親として多忙な毎日を送る。



株式会社放送通信機器 代表取締役
佐藤 壘 (さとう りい)

1978年神奈川県横浜市生まれ。出版社勤務を経て、2008年株式会社ミスミ (現 株式会社ミスミグループ本社) 入社。在籍11年間を通じて事業部門にて商品開発から調達・生産、マーケティング・販売まで一気通貫で経験を積む。17年まで中国を中心としたアジア地域のサプライチェーン構築、事業開発を担当。日本帰任後は約100億円規模の事業領域の責任者としてEC流通の事業戦略立案・実行を担う。2020年4月株式会社放送通信機器入社、同7月より現職。

FAX 0790-22-5942

中小企業大学校関西校 研修担当 行

■貴社の概要について(必ずご記入ください)

| | | |
|------------------|-------------|------------|
| ふりがな 企業・団体名 | | |
| ふりがな 代表者名(役職) | | |
| 〒 住所 | | |
| 代表 | TEL () | — |
| | FAX () | — |
| 連絡担当 | ふりがな 部課名 | ふりがな 氏名 |
| | TEL () | — |
| | FAX () | — |
| | E-mail: | |

(1)業種(該当する番号に○をおつけください)

D 建設業(06 総合工事 07 職別工事 08 設備工事)

E 製造業

09 食料品 10 飲料・飼料 11 繊維工業 12 木材・木製品
13 家具・建具 14 パルプ・紙 15 出版・印刷 16 化学
17 石油製品・石炭製品 18 プラスチック製品 19 ゴム製品 20 革製品
21 窯業・土石製品 22 鉄鋼 23 非鉄金属 24 金属製品
25 汎用機械器具 29 電機機械器具 31 輸送機械器具 32 その他

G 情報通信業

H 運輸業

I 卸売業 I 小売業

a 繊維品 b 化学製品 c 機械器具 d 建築材料等 e 衣服 f 食料
g 医薬品 h 家具 i 什器等 j その他()

N サービス業 U その他()

| | | |
|--------------|--------------|----------------|
| (2)資本金 万円 | (3)従業員数 人 | (4)創業年月 年 月 |
|--------------|--------------|----------------|

(5)主要取扱品目:

■受講者について

【申込コースおよび受講希望者情報】研修テーマ: (2177)「投資会社が伝える、事業承継・M&Aの進め方」

| コースNO. | (フリガナ) 受講者名 | 部署・役職(役職を記載の上該当区分○) | | | | 年齢 歳 | 性別 男・女 |
|--------|----------------|---------------------------|----|--|--|---------|-----------|
| | | 部署 | 役職 | | | | |
| 77 | | 1.代表者 2.役員 3.管理者 4.管理者候補等 | | | | | |
| | | 緊急連絡先(携帯) | | | | | |

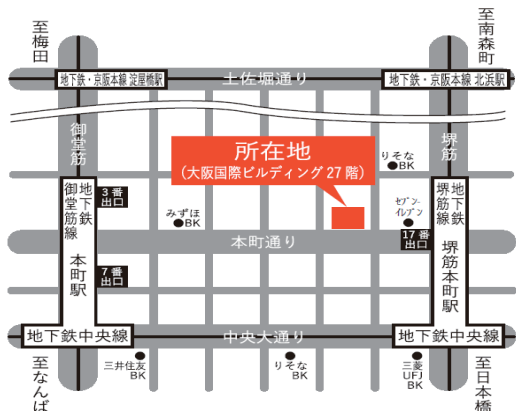
※複数名参加の際は、申込書をコピーしてお申込下さい。

＜反社会的勢力でないことの確約について＞

当社(当機関)は、暴力団等の反社会的な勢力に該当せず、今後においても反社会的勢力との関係を持つ意思がないことを確約します。また、反社会的勢力に該当し、もしくは暴力的な要求行為等に該当する行為をしたことが判明した場合には研修の受講を中止されても異議申し立てを行いません。

今回の研修を知ったきっかけについて、該当するものに○をご記入ください。

- 研修ガイド
- チラシ
- ホームページ
- ウェブ広告・SNS
- メルマガ
- 他社の紹介・口コミ
- 自治体・商工団体
- 金融機関
- 新聞・雑誌・ラジオ・街頭広告
- 大学校・中小機構職員の訪問・電話
- セミナー・イベント
- その他()



- お申込み方法
 - ・こちらの申込書をFAXでお申込みいただくか、関西校HPのオンラインでお申込みください。
 - ・受講申込後、開校日の約1か月前から「受講料振込依頼書」を郵送いたしますので、所定の期日までに受講料をお振込みください。
 - ・応募多数の場合はキャンセル待ちをいただくか、もしくは受講をお断りすることがございますので、お早目のお申込みをおすすめします。
- 多くの研修には、自社の課題を分析する科目(演習)があり、受講者はその課題を持参いただくことが受講要件となりますが、ご対応いただけない場合などには、受講をご遠慮いただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 受講申込みにおける個人情報の保護について
 - 中小企業大学校関西校では「個人情報保護法」に基づき、個人情報の適切な管理に努めてまいります。皆様から頂戴しました受講申込書に記載されている内容をもとに、今後お客様に有益と思われる研修など当機構内で実施する事業のご案内を郵便、電子メール、FAX等でお送りさせていただきます。
 - また、研修実施にあたり、講師に個人情報を通知する場合がありますが、より効果的な研修をすることを目的に行うものです。「個人情報」につきましてご質問がありましたら関西校までお寄せいただくようお願いいたします。
- 研修会場には、受講者用の駐車・駐輪施設がありませんので、ご来場にあたっては公共交通機関のご利用をお願いいたします。また、宿泊施設は併設していませんので、宿泊が必要な方は、各自でご手配をお願いいたします。

会場アクセス 中小機構 近畿本部
〒541-0052 大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング27階(セミナールーム)

■Osaka Metro (大阪メトロ)
堺筋線・中央線「堺筋本町」駅から徒歩2分(17番出口)
御堂筋線・中央線「本町」駅から徒歩5分(3番・7番出口)
大学校使用欄

中小企業大学校 関西校

〒679-2282 兵庫県神崎郡福崎町高岡1929

TEL : 0790-22-5931 FAX : 0790-22-5942
URL : https://www.smrj.go.jp/institute/kansai/ E-mail : kenshu-kansai@smrj.go.jp